

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 岡谷電機産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6926 URL <http://www.okayaelec.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山岸久芳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営本部対外全般統括 (氏名) 江本明弘

TEL 03-4544-7000

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	9,617	15.2	277	46.1	420	69.6	265	60.2
25年3月期第3四半期	8,345	△13.6	190	△71.0	247	△59.4	165	△61.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 683百万円 (177.5%) 25年3月期第3四半期 246百万円 (△1.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	11.86	—
25年3月期第3四半期	7.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	13,570	9,033	66.3
25年3月期	12,422	8,528	67.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 9,000百万円 25年3月期 8,416百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	4.00	9.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,600	11.2	450	131.7	450	39.1	350	68.5	15.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	22,921,562 株	25年3月期	22,921,562 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	568,993 株	25年3月期	568,764 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	22,352,670 株	25年3月期3Q	22,354,462 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付の資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
4. 補足情報 .....	9
(1) 地域別売上高 .....	9
(2) 減価償却費 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済につきましては、米国では企業業績・個人消費も底堅い推移を見せ、景気の改善の動きは継続が見られました。欧州では南欧諸国の景気回復の兆しは見られるようになりましたが、一方で雇用問題を抱える国々もあり、回復ペースは十分とは言えない状況でした。中国においても経済成長のペースは鈍化が続き、アジア諸国の賃金の上昇も目立つ状況にありました。

国内においては、政府主導による積極的な経済対策や金融政策を受け、株価が上昇し、過度の円高も解消され、企業収益や個人消費は緩やかな改善傾向が見られております。

このような経済環境の中、当社グループは今年度に市場のグローバル化、変化のスピードに対応すべく、社内カンパニーとして海外事業を中心とする国際事業カンパニーと国内を中心とする国内事業カンパニーに分けて事業展開を進めておりますが、売上、利益面で徐々にその効果が発揮されて来ております。

特に海外においては、営業・生産・管理部門それぞれに役員クラスの人財配置を行い、従来以上に細部にわたる市場調査や受注先開拓、生産工場での大幅な合理化や技術対応力の強化等を進めたことにより、前年度下期に大きく落ち込んだ売上・利益が回復しつつあります。今年度は、特に夏場の猛暑によるエアコン用部品の需要増が秋以降も継続するとともに家庭用医療機器向け部品の販売も堅調に推移しております。また、アジア地区各国で活動しているローカル企業の開拓も徐々に成果が出始めてまいりました。

国内では、中国や欧州諸国向けの産業機器等の低迷はまだ回復には至っておりませんが、環境・エネルギー分野の部品については、継続的に市場開拓並びに提案活動を進めております。特に太陽光・風力発電のパワーコンディショナー向けのノイズ・サージ関連部品などの新規分野については、上期に成果を挙げ、屋外LED表示灯の電源部分に使用される部品などは堅調に推移しております。

また、コスト面につきましては継続的に人件費・原材料費等の低減に努めておりますが、中国の工場では省人化ラインの増設とともに、休日稼働や残業の抑制並びに間接業務の合理化を強力に進めております。

一方、スリランカの工場では、ノイズ関連部門の作業者の能力向上を図りながら、生産品種拡大と歩留の向上策を進め、安定した生産体制の構築を図っております。そして、オカヤグループ全体の受注動向を見ながら、中国・スリランカ並びに国内のどこの工場での生産が最適かを見極めながら、適宜生産場所を選択できる体制づくりを進めております。

また、例年第4四半期には中国で旧正月期間の休日増加と作業者の多数退職による生産能力の低下が発生し、その対応策として、当第3四半期連結累計期間中に本年1～2月に売上が見込まれるノイズ関連製品を中心として、前倒し生産を実施いたしました。

また、TPR株式会社と合弁で設立した「TOCキャパシタ株式会社」の事業につきましては、取引先の新規開拓とサンプル品出荷を進めるとともに、更なる技術開発も並行して進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は96億17百万円（前年同期比115%）、営業利益は2億77百万円（同146%）、経常利益は4億20百万円（同170%）、四半期純利益は2億65百万円（同160%）となりました。

セグメント別の業績は下記のとおりです。

#### ノイズ関連製品

上期は太陽光発電・風力発電等に使用されるパワーコンディショナー向けのコンデンサやノイズフィルタ部品が伸張しました。また、テレビ向けはまだ回復に至っておりませんが、夏場の猛暑の影響によるエアコン向けの部品の売上が秋以降も順調に推移しております。また、電気自動車の急速充電器関連の部品需要は継続しており、産業機器関連は、一部のメーカーで受注の回復が見られました。この結果、ノイズ関連製品の当第3四半期連結累計期間の売上高は58億50百万円（同123%）となりました。

#### サージ関連製品

ノイズ関連製品と同様にパワーコンディショナー向けの部品は、上期は好調でありました。また、屋外LED表示灯の電源部分に使用される部品やエアコン・白物家電向けは伸張しました。また、インターホン・監視カメラなどのセキュリティー関連が伸張し、産業機器関連向けも新製品の展開により一部で需要が増加し、サージ関連製品の当第3四半期連結累計期間の売上高は15億61百万円（同109%）となりました。

#### 表示関連製品

前年度から表示関連製品については、国内ではLED分野に特化し、PDP、LCD製品の受注は収束を進めておりました。LED分野では省エネに効果のあるエレベーター・エスカレーター関連は引き続きの受注がありましたが、PDP、LCD製品の前年度売上に相当する落ち込みをカバーするまでには至りませんでした。また、家庭用医療機器に使用されるLCD表示器などは、主に海外で成果を上げています。現在新規開発中の製品についても、お客様より関心をいただいております。表示関連製品の当第3四半期連結累計期間の売上高は18億22百万円（同103%）となりました。

センサー関連製品

産業機器で生産設備用の部品について、上期は伸びが見られましたが、下期に入り期待した成果が出ていない状態が続いております。また、時計の時刻補正用センサーは堅調に推移しており、今後は産業機器のセキュリティ関連製品の部品も提案強化を図ってまいります。センサー関連製品の当第3四半期連結累計期間の売上高は3億83百万円（同101%）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期連結業績予想については、平成25年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、上記の予想は本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提としており、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、OKAYA ELECTRIC (THAILAND) CO., LTD. を平成25年4月1日に設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,116,494	1,435,292
受取手形及び売掛金	4,070,628	4,225,027
商品及び製品	443,579	1,000,204
仕掛品	288,462	261,371
原材料及び貯蔵品	616,400	641,857
繰延税金資産	129,803	139,512
その他	229,276	334,183
貸倒引当金	△12,015	△12,802
流動資産合計	6,882,631	8,024,646
固定資産		
有形固定資産	2,863,474	2,730,282
無形固定資産	225,800	169,451
投資その他の資産		
投資有価証券	1,222,715	1,479,981
長期預金	1,000,000	1,000,000
繰延税金資産	122,188	65,898
その他	105,922	99,907
投資その他の資産合計	2,450,826	2,645,787
固定資産合計	5,540,101	5,545,521
資産合計	12,422,732	13,570,168

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	968,232	1,198,513
短期借入金	715,455	1,288,964
未払法人税等	209,338	92,501
その他	917,370	768,233
流動負債合計	2,810,397	3,348,213
固定負債		
長期借入金	266,720	316,780
退職給付引当金	482,170	505,344
役員退職慰労引当金	35,053	24,303
環境対策引当金	12,728	12,728
資産除去債務	8,305	8,305
その他	278,794	321,331
固定負債合計	1,083,770	1,188,791
負債合計	3,894,168	4,537,005
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,295,169	2,295,169
資本剰余金	1,861,040	1,861,040
利益剰余金	3,981,442	4,067,834
自己株式	△120,865	△120,943
株主資本合計	8,016,787	8,103,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	355,670	503,636
繰延ヘッジ損益	—	△390
土地再評価差額金	464,737	464,737
為替換算調整勘定	△420,922	△70,698
その他の包括利益累計額合計	399,485	897,284
少数株主持分	112,290	32,776
純資産合計	8,528,563	9,033,162
負債純資産合計	12,422,732	13,570,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	8,345,782	9,617,515
売上原価	6,402,375	7,316,152
売上総利益	1,943,406	2,301,362
販売費及び一般管理費	1,753,122	2,023,435
営業利益	190,284	277,927
営業外収益		
受取利息	16,811	20,136
受取配当金	28,475	38,434
為替差益	18,890	90,264
その他	13,541	7,273
営業外収益合計	77,718	156,108
営業外費用		
支払利息	14,616	9,210
その他	5,473	4,275
営業外費用合計	20,090	13,486
経常利益	247,912	420,550
特別利益		
投資有価証券売却益	4,000	—
特別利益合計	4,000	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2,131
特別損失合計	—	2,131
税金等調整前四半期純利益	251,912	418,418
法人税等	121,249	232,719
少数株主損益調整前四半期純利益	130,663	185,699
少数株主損失(△)	△34,900	△79,513
四半期純利益	165,563	265,212

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	130,663	185,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,841	147,965
繰延ヘッジ損益	—	△390
為替換算調整勘定	140,476	350,223
その他の包括利益合計	115,635	497,799
四半期包括利益	246,298	683,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	281,199	763,012
少数株主に係る四半期包括利益	△34,900	△79,513

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ノイズ 関連製品	サージ 関連製品	表示 関連製品	センサー 関連製品			
売上高							
外部顧客への売上高	4,761,805	1,427,644	1,776,869	379,462	8,345,782	—	8,345,782
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,761,805	1,427,644	1,776,869	379,462	8,345,782	—	8,345,782
セグメント利益	340,962	309,605	133,644	53,710	837,922	△647,638	190,284

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ノイズ 関連製品	サージ 関連製品	表示 関連製品	センサー 関連製品			
売上高							
外部顧客への売上高	5,850,291	1,561,413	1,822,123	383,686	9,617,515	—	9,617,515
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,850,291	1,561,413	1,822,123	383,686	9,617,515	—	9,617,515
セグメント利益	409,259	389,321	30,483	68,216	897,281	△619,354	277,927

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

## 4. 補足情報

## (1) 地域別売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(単位:千円)

日本	香港	中国	その他アジア	北米	その他(注)2	計
4,525,596	1,389,125	527,446	1,051,283	782,703	69,626	8,345,782
54.2%	16.7%	6.3%	12.6%	9.4%	0.8%	100.0%

(注)1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

2. 「その他」の区分は、主に欧州である。

3. 比率は構成比である。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

(単位:千円)

日本	香港	中国	その他アジア	北米	その他(注)2	計
4,585,241	1,931,700	725,494	1,320,439	976,023	78,615	9,617,515
47.7%	20.1%	7.5%	13.7%	10.2%	0.8%	100.0%

(注)1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

2. 「その他」の区分は、主に欧州である。

3. 比率は構成比である。

## (2) 減価償却費

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	443,731千円	524,976千円